

都市再生整備計画

かごしまちゅうおうえきひがしぐち ちく
鹿児島中央駅東口地区

かごしまけん かごしまし
鹿児島県 鹿児島市

令和2年3月11日
令和3年2月18日(第1回変更)
令和4年2月4日(第2回変更)
令和5年2月16日(第3回変更)

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークابل推進事業	□

目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	鹿児島県	市町村名	かごしまし 鹿児島市	地区名	かごしまちゅうおうえきまひがしぐちく 鹿児島中央駅東口地区	面積	約43 ha
計画期間	令和2年度～令和4年度	交付期間	令和2年度～令和4年度				

目標
大目標:かごしまの陸の玄関にふさわしいにぎわいとゆとりある都市空間の創出とおもてなしの心に溢れたまちづくり
目標1:交通結節拠点としての安全性、利便性の向上や新たなにぎわいの創出により、回遊性の向上を図る。
目標2:地元主体のまちづくりを推進する。
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針)を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 ○利便性の高いまちを維持するために中心市街地や副都心などに高次都市機能を集積するとともに、地域生活拠点や団地核、集落核を基本として、生活利便施設を集約し、一定の人口密度を維持しながら歩いてくらせる生活圏の形成を図る。 ○人口の集約や行政財の効率的な運営のためにコンパクトかつ安全な市街地の形成に向けた土地利用の促進を図る。 ○中心市街地や副都心の持つ都市機能を誰もが享受することが可能となるために、利便性・効率性の高い持続可能な公共交通体系の構築を図り、拠点間がネットワーク化された市街地の形成を図る。
まちづくりの経緯及び現況 ○本市では、都心部地区において、平成18年度から27年度まで2期にわたり都市再生整備計画事業を実施している。事後評価では、「都心部を構成する鹿児島中央駅周辺地区、いづろ・天文館地区、鹿児島駅周辺地区の3地区では、置かれている状況が異なることから、地区ごとのまちづくり目標を定め、まちづくりを進める必要がある」とし、鹿児島中央駅周辺地区においては、「陸の玄関として、本市のイメージアップにつながる取り組みが求められており、周辺のまちづくり組織が連携し、まちづくりに取り組む必要がある」としている。 ○各地区の都市再生整備計画については、26年度に鹿児島駅周辺地区、29年度にいづろ・天文館地区を作成しており、今回、鹿児島中央駅周辺地区においても、鹿児島中央駅周辺まちづくり推進協議会(愛称「KAGOCHU」)が設立され、エリアマネジメントの機運が高まってきたことなどから、当計画を作成するものである。 ○鹿児島中央駅周辺は、駅利用の観光客等が最初に訪れる本市の第一印象を決定付ける重要な地区で、鹿児島陸の玄関にふさわしいにぎわいとゆとりある都市空間の創出や、おもてなしの心にあふれたまちづくりが求められている地区である。 ○当該地区においては、商業の活力の向上を図るため、中央町22番街区及び23番街区の市街地再開発事業が先行プロジェクトとして既に実施され、現在は、東口駅前広場に面し、地区の顔でもある中央町19・20番街区において、令和3年1月末の竣工を目指し、市街地再開発事業が進められている。 ○このような中、19・20番街区再開発ビルの附置義務駐車場を含む立体駐車場、託児所、商業・業務施設で構成される複合施設の整備などを支援し、さらなるにぎわいとゆとりある都市空間の創出を図ることとしている。 ○地元住民を主体としたまちづくりについては、23年度に市において「鹿児島中央駅周辺一体的まちづくり推進事業」を立ち上げ、駅周辺の商店街や企業等によるワークショップを開始し、24年度に「鹿児島中央駅周辺一体的まちづくりガイドライン」を策定した他、27年度より、連休や大規模イベント時に東口駅前広場において、商店街、企業、市職員によるまち案内活動を開始している。 ○29年度には、駅周辺の既存の3組織が連携する形で新たなまちづくり組織「KAGOCHU」が設立され、「安心安全な」、「おもてなしの心に溢れた」、「にぎわいのある魅力的な美しい」まちづくりを目標に活動を開始している。また、まち案内活動についても「KAGOCHU」が引き継ぎ、活動日数を増やすなど充実を図っている。 ○このようなまちづくりへの機運が高まりつつある中、これらの活動を持続的に発展させるため、まちづくり団体の人的・経済的自立を促す必要がある。
課題
○鹿児島中央駅東口地区を含めた中心市街地の回遊性の向上 ・歩行者通行量が低下傾向にある中心市街地全体のさらなるにぎわい創出を図る必要がある。 ○交通結節拠点としての安全性、利便性の向上 ○地元主体のまちづくり活動のさらなる充実 ・まちづくり団体の人的、経済的自立を促すなど、地元主体によるまちづくり活動の強化を図る。
将来ビジョン(中長期)
○立地適正化計画では、駅前広場を中心に土地の高度利用の促進や商業・業務機能の一層の充実を図ることを目指している。 ○かごしま都市マスタープランでは、かごしまの陸の玄関としての交通結節機能の向上と南国かごしまをアピールする交流空間の形成を目指している。 ○鹿児島市中心市街地活性化基本計画では、民間主導によるにぎわい創出や、来街しやすく気軽にまち歩きを楽しめる特色ある公共交通の環境整備を進めることで、「個性と魅力に磨きをかけてにぎわいあふれるまちづくり」を目指している。

都市構造再編集集中支援事業の計画 ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方
○「かごしまコンパクトなまちづくりプラン」では、まちづくりの方向性として、「利便性の高いまちを維持するために中心市街地や副都心などに高次都市機能を集積する」としている。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
歩行者通行量	人/日	鹿児島中央駅地区の土日の歩行者通行量	まちなかのにぎわいを表す指標	38,310	H28	46,000	R4
まち案内の活動日数	日/年	「KAGOCHU」のまち案内活動の活動日数	地元住民主体のまちづくりの活性化を表す指標	19	H30	30	R4

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【交通結節拠点としての安全性、利便性の向上や新たなにぎわいの創出により、回遊性の向上を図る】 鹿児島中央駅周辺における歩行者の利便性、回遊性の向上を目的に、市街地再開発組合が行うペDESTリアンデッキ整備を支援する。		【基幹事業・組合】ペDESTリアンデッキ等整備事業 【提案事業・鹿児島市】甲突川リバーサイド利活用事業
【地元主体のまちづくりを推進する】 地元のまちづくり組織が行っているまち案内活動の支援や、地下通路の広告掲示板における収益事業の社会実験を行い、地元主体のまちづくりを推進する。		【提案事業・鹿児島市】地下通路広告掲示板社会実験 【提案事業・協議会】まち案内活動 【提案事業・鹿児島市】事後評価分析調査
その他		
【まちづくりの住民参加】 ○本計画により整備する施設の運営、管理について、「KAGOCHU」の都市再生推進法人の制度活用を検討している。		

様式(1)-④-1

[illegible]